



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. C 2. B 3. A 4. D 5. B 6. B 7. C 8. A

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

= top hat = snow = flower = sun = cloud = candle = movie = calendar

Unscramble

1. SHADOW 2. WINTER 3. SPRING 4. BURROW 5. CLOUDY 6. WEATHER

Fill in the blanks

(1) hole (2) sleeps (3) early (4) cloudy (5) cocoa (6) head (7) shadow (8) coming (9) wait (10) picture

Sentence order

1. The groundhog comes out of its hole.
2. Winter will last six more weeks.
3. Thousands of people wait in the cold.
4. The idea came from an old German custom.
5. Phil is not a good weather forecaster.

Secret Code

SIX MORE WEEKS ((冬は) あと6週間)

Maze — Secret word

SHADOW

解説 (Reading Check)

1. C フィルの予報のルール、ドイツからの由来、的中率、映画で有名になったことを説明しています。動物の世話や天気アプリの話ではありません。
2. B 第2段落に If Phil sees his shadow, winter will last six more weeks. とあります。春が早いのは影を見なかったときです。
3. A 第3段落に German farmers watched a badger とあります。シカ・ウサギ・ネコは本文に出てきません。
4. D 第3段落の最後に The first official Groundhog Day in Punxsutawney was in 1887. とあります。1993年は映画の年です。
5. B a U.S. government weather agency とあり、科学者が予報を調べたので、政府の機関（組織）のことです。
6. B 第2段落に Men in tall black hats bring Phil out とあります。的中率は約30パーセント、由来はドイツ、映画は1993年です。
7. C 第4段落で、予報はあまり当たらないのに「フィルは決してまちがえない」と言っています。これは funny answer (おもしろい答え) なので、行事の楽しい設定を守るためだと推測できます。
8. A グレースが「10回に3、4回くらい」と言うと、ソウタは That's worse than our weather app! と答えています。



Translations

和訳・全訳

Class _____ No. _____ Name _____

和訳（問題文）

- T/F 1. グラウンドホッグデーは2月2日だ。（正しい）
- T/F 2. グラウンドホッグが影を見たら、春が早く来る。（まちがい：冬があと6週間続く）
- T/F 3. この考えはドイツの古い習慣から来た。（正しい）
- T/F 4. フィルはほぼ毎年当たる。（まちがい：直近10年で約30%）
- T/F 5. グラウンドホッグデーについての有名な映画が1993年に公開された。（正しい）
- T/F 6. グラウンドホッグはブタの一種だ。（まちがい：リスの仲間）
- Unscramble 1. SHADOW＝影
- Unscramble 2. WINTER＝冬
- Unscramble 3. SPRING＝春
- Unscramble 4. BURROW＝巣穴
- Unscramble 5. CLOUDY＝くもりの
- Unscramble 6. WEATHER＝天気
- Order 1. グラウンドホッグが穴から出てきます。
- Order 2. 冬はあと6週間続きます。
- Order 3. 何千人もの人が寒さの中で待ちます。
- Order 4. この考えはドイツの古い習慣から来ました。
- Order 5. フィルはよい天気予報士ではありません。
- ... likes winter more than summer＝夏より冬が好き
- ... has seen a squirrel in a park＝公園でリスを見たことがある
- ... checks the weather forecast every morning＝毎朝天気予報を見る
- ... knows the meaning of shadow＝shadow の意味を知っている
- ... has thrown beans on Setsubun＝節分に豆をまいたことがある
- ... can say the four seasons in English＝英語で四季が言える
- ... has watched a movie about time travel＝タイムトラベルの映画を見たことがある
- ... likes to sleep late on winter mornings＝冬の朝はおそくまで寝ていたい
- If I were Phil, I would say "_____" this year because _____.＝もし私がフィルなら、今年は「_____」と言います。なぜなら_____だからです。
- If I had to live the same day again and again, I would _____.＝もし同じ日を何度もくり返さなければならなら、私は_____します。
- In my town, people know spring is coming when _____.＝私の町では、_____と春が近いとわかります。

全訳（Reading）

1 毎年2月2日、何千人もの人がペンシルベニア州の小さな町で寒さの中に立っています。その多くは、日の出の何時間も前、まだ暗いうちにやってきます。彼らは1匹のグラウンドホッグを待っているのです。名前はパンクサトニー・フィル。未来がわかると言われています。

2 ルールはかんたんです。フィルが自分の影を見たら、冬はあと6週間続きます。見なかったら、春が早くやってきます。背の高い黒い帽子をかぶった男性たちが、フィルを群衆の前に連れ出します。リーダーがフィルの言葉を聞き、それから別の男性がみんなに予報を読み上げます。

3 この考えはドイツから来ました。昔、ドイツの農民たちは、キャンドルマスという教会の祝日の2月2日にアナグマを観察していました。その一部がペンシルベニアに移り住んだとき、彼らは代わりにグラウンドホッグを使いました。パンクサトニーで最初の公式なグラウンドホッグデーが開かれたのは1887年でした。

4 フィルはよい天気予報士でしょうか。そうでもありません。アメリカ政府の気象機関の科学者たちが、彼の予報を調べました。直近の10年で、当たったのはわずか約30パーセントでした。でも、ファンにはおもしろい答えがあります。フィルは決してまちがえない、と言うのです。まちがえるのは、彼の言葉を通訳する人たちなのです！

5 フィルが有名なのには、もう一つ理由があります。1993年、『グラウンドホッグデー』という映画が公開されました。映画の中で、テレビの天気予報士は2月2日を何度もくり返し生きなければなりません。しかも、映画の天気予報士の名前もフィルなのです！今では、毎日同じことが起こるとき、人々は「まるでグラウンドホッグデーだ」と言います。こうして、小さな町の伝統が英語に真新しい言い回しを贈ったのです。

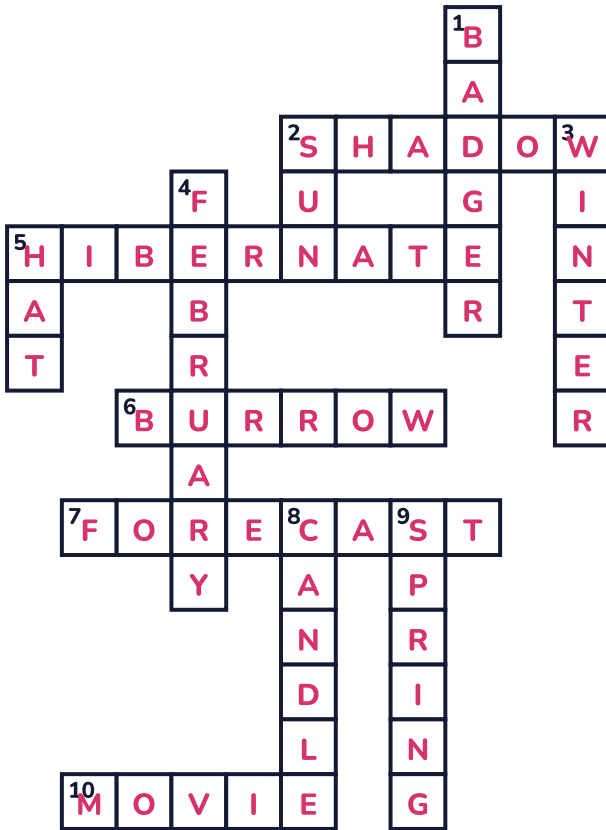


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

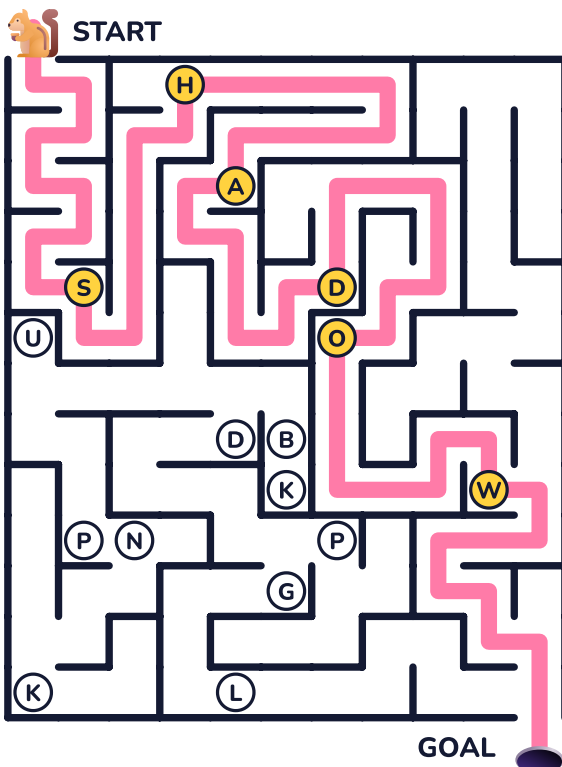
Crossword



Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1：Comprehension

1. D 第1段落で予報が当たらないことを示し、第2段落で経済的な理由、第3段落で心理的な理由を説明しています。1の科学者が中止を求めているという記述はなく、2は本文と逆、3の映画が実話という記述もありません。
2. C 第2段落 Attendance jumped from about 2,000 to around 10,000 after the 1993 film made the town famous が根拠です。1と2は本文にありません。4の40,000は1日の来場者の最大数で、町の人口は6,000人未満です。
3. A 第1段落 as a group, they did no better than a coin toss が根拠です。2の30%はアメリカ国立環境情報センターによるフィルだけの結果で、2021年の研究ではありません。3と4は本文に書かれていません。
4. B 第3段落で、主催者は人々が笑い合える場の大切さを perfectly に理解していて、はずれたときは通訳のせいにする、と書かれています。ここから、行事をジョークとして楽しく続けようとしていると推測できます。1・3・4は本文に根拠がありません。
5. C ここでの engine は比喻で「（成長を）引っ張る力」。直後の文で、食堂から土産物店まで地元の商売がその朝に頼っていると説明しています。1は文字どおりの意味で文脈に合わず、2・4も合いません。
6. B 最後の文 Groundhog Day works not because it predicts the future, but because it helps a community get through the present. で、行事の価値は未来の予報ではなく「今」をみんなで乗りこえることにあると述べています。1・3は逆、4のヨーロッパとの比較はありません。

発展セット C2：Vocabulary

1-b (meteorologist＝気象学者、気象予報士) 2-c (conclude＝結論を出す) 3-d (resident＝住民) 4-e (attendance＝参加者数、出席者数) 5-f (depend on＝～に頼る、～しだいである) 6-g (psychological＝心理的な) 7-h (ritual＝儀式、決まっ
て行うこと) 8-a (organizer＝主催者、運営者)

Paraphrase (例)

1. Science shows that Punxsutawney Phil is not good at predicting the weather.
2. Many shops and restaurants in the town need the money they make on that single cold morning.
3. The reason Groundhog Day is successful is not its forecast. It is the way it helps people in the town get through a hard time together.

Summary (例)

Punxsutawney Phil's forecasts are usually wrong, and studies show groundhogs do no better than a coin toss. Still, the event continues because it brings thousands of visitors and money to a small town. It also gives people something to laugh about together during a long winter, which helps the community.

Advanced Reading 全訳

- 1 どんな科学的な基準で見ても、パンクサトニー・フィルはへたな気象予報士です。アメリカの国立環境情報センターは、過去10年で彼が当たったのは約30パーセントにすぎないと発表しました。北アメリカのグラウンドホッグによる530回の予報を調べた2021年の研究は、全体としてコイン投げと変わらないと結論づけました。それでも群衆は毎年やってきます。
- 2 答えの一部は経済的なものです。パンクサトニーの住民は6000人足らずですが、冬のたった一朝で最大4万人の訪問者を迎えることがあります。1993年の映画で町が有名になると、見物客は約2000人から約1万人に急増し、地元の冗談が観光のエンジンになりました。食堂からみやげ物店まで、地元の店はその寒い一朝をたよりにしています。
- 3 もう一つの理由は心理的なものです。2月の初め、冬は永遠に続くように感じられます。みんなで行う儀式は、人々にいっしょに笑い合えるものを与えてくれます。主催者はこのことをよくわかっています。フィルが外れたときは、彼のメッセージを通訳した人間のせいにするだけなのです。グラウンドホッグデーがうまくいっているのは、未来を予測するからではなく、地域の人々が「今」を乗りきる助けになるからなのです。